IWATE TAKIZAWA CITY

2025年度版

TAKIZAWA

やさしさに包まれた滝沢

岩手県滝沢市

企業版ふるさと納税のご案内

＜対象プロジェクト集＞

企業版ふるさと納税制度とは

企業版ふるさと納税とは、国が認定した地方創生プロジェクトに対し、
寄附を行った企業が法人関係税から最大9割の税額控除を受けられる制度です。

滝沢市ではこの制度を活用し、
ご寄附を通じ地方創生に共に取り組むパートナー企業様を募集しています。

税額控除のイメージ

最大約 9 割の税負担軽減効果があります。

企業版ふるさと納税制度による寄附

損金算入による軽減	税額控除	企業負担
約 3 割	最大 6 割	**最小1**割

通常の寄附

例：1,000万円寄附いただくと、最大約900万円の法人関係税が軽減

その他のメリット

市から寄附企業様の思いや姿勢について、市から広くＰＲいたします。
また市とのパートナーシップを事業展開に活かすことができます。

企業としての社会貢献

滝沢市Webサイト記者会見等での企業PR

滝沢市とのパートナーシップ

寄附の流れ

寄附の検討
対象事業や寄附額についてご検討ください。ご説明もさせていただきますので、是非お問い合わせください。

寄附の申出
事業や額を決定いただいた後、貴社のご希望のタイミングで「寄附申出書」をご提出ください。

寄附の受領
本市が発行する納付書によりご寄附のお振込をお願いいたします。入金確認後、本市より「受領証」をお送りいたします。

贈呈式等
ご寄附への感謝状贈呈式や市長との懇談の機会を設けさせていただきます。（ご希望により実施しないことも可能）

税申告
「受領証」をもとに、税務署で税申告のお手続きをお願いいたします。

留意事項

○　滝沢市内に本社がある企業様は、本制度の対象外となります。
○　１事業あたりの寄附額は最低１０万円からとなります。
○　寄附の代償として経済的な利益を受け取ることは禁止されています。

対象事業について

次頁から、具体的な対象事業の概要を記載しています。
このほかにも、「滝沢市地域再生計画」に位置付けられているすべての事業が対象となります。
「こんな事業を応援したい！」というものがありましたら、ぜひお気軽にご連絡・ご相談をお願いいたします。

プロジェクトその１

子どもが主役の体験あふれる滝沢市へ

～ビッグルーフ滝沢を子どもの社会体験拠点に～

子どもが体験・成長できる機会を創出

子どもの数が多い本市では、交流拠点複合施設「ビッグルーフ滝沢」を舞台に子ども向け職業体験イベントを実施しています。

このイベントは、子どもたちが職業や社会を体験し学ぶことで、将来世界で活躍する『滝沢人』として羽ばたける人になることを目的に実施しました。
さらにその体験が滝沢市で出来ることで「子どもが主役で成長できるまち」として本市の特色を出すことをねらいとしています。

長期的目線での人材育成に

令和６年度には、「キッザニア」を運営するKCJGROUP㈱の監修を受け、ビッグルーフ滝沢で２日間の出張版キッザニア「Out of KidZania in 滝沢 2024」を開催しました。

寄附企業様はじめ多くのご出展をいただき、参加した子どもや家族の方が普段目にしない職業や仕事を知る機会にもなりました。

出展者の皆様からは、若手社員の成長の機会になったとのお声もいただき、企業ＰＲや人材育成の機会としても活用いただいております。

今後も本市における「子どもが主役の体験あふれるまち」づくりを続けてまいりますので、皆様のご支援をお願いいたします。

事業名：交流拠点複合施設管理運営事業

事業費：4,400千円（令和7年度予算額）

概　要：滝沢市交流拠点複合施設「ビッグルーフ滝沢」での職業体験イベントの実施

担当課：市民環境部地域づくり推進課　川嶋・石井 （kyoten@city.takizawa.iwate.jp）

プロジェクトその２

みんなで支え合い
安全で安心できるまちに

～災害に強いまちづくりの推進～

市民と共に災害に強いまちを目指す

市内に住む方々、消防団や学生ボランティアなど市内で活動する方々と共に、防災訓練や様々な活動を通して防災意識を高め、災害に備えた知識や経験を蓄積しています。
具体的な活動としては、市総合防災訓練や、地域ごとの防災訓練、避難所体験会といったものになります。

いざというときにお互いに支え合える関係、やさしさと絆で結ばれた関係づくりを進めていくことにより「安全で安心できるまち」をつくっていきます。

関係機関や事業者と共に災害に強いまちを目指す

防災意識の醸成、災害発生時の対応において、地域の自主防災組織・警察・消防・自衛隊といった関係機関との連携が不可欠でありますし、地域事業者を中心とした事業者の方々との連携も重要であると考えています。

複数の事業者との協定を締結しているほか、県内事業者と連携した親子向け防災イベント「あそぼうさい」を実施するなどしています。

今後も、支援の輪を広げながら、災害に強いまちをつくっていきたいと考えております。
皆様のご支援をお願いいたします。

事業名：災害対策事務
事業費：26,494千円（令和7年度予算額）
概　要：安全で安心できるまちを目指して、災害対策に係る事務を行い、災害に強いまちづくりを推進するものです。
担当課：市民環境部防災防犯課　佐々木（bousai@city.takizawa.iwate.jp）

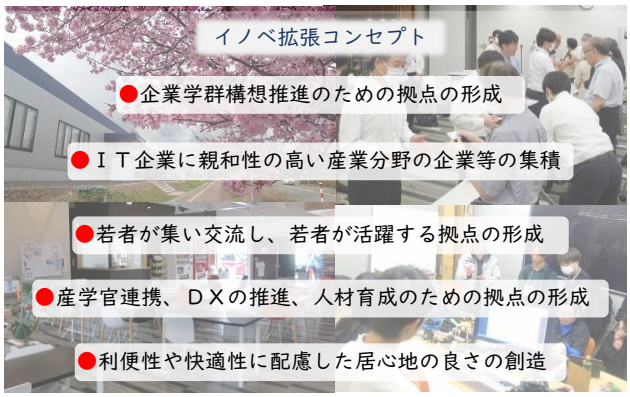
プロジェクトその３

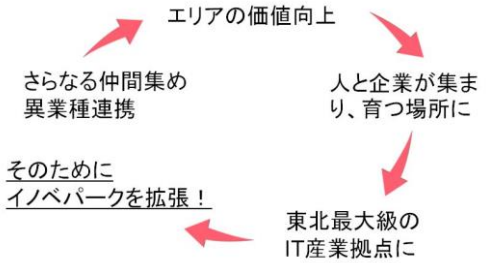
東北最大規模の
ＩＴ関連産業の拠点形成

～　さらなるＩＴ産業の集積を目指して　～

滝沢市ＩＰＵイノベーションパークは、隣接する岩手県立大学のポテンシャルを活かした、地域産業の開発力や競争力を支えるIT開発拠点の形成を目指して、滝沢市、県立大学及び岩手県が整備計画を策定し、整備・運営を進めてきたＩＴ産業集積拠点です。

企業入居型の２棟の「滝沢市ＩＰＵイノベーションセンター」と企業立地型の分譲地「滝沢市ＩＰＵイノベーションパーク」を整備しており、新事業の創出、研究開発の支援、人材育成等を促進する拠点として多くのＩＴ企業が入居・立地しています。





ＩＰＵイノベーションパークの拡張

令和7年6月現在、30社が入居・立地し、約200人の方々が働いていますが、センターが満床、パークの空き区画も少なく、今後のさらなる地域経済の活性化、雇用の場の創出、高付加価値型の産業集積地の拠点化を図るため、本パークの拡張を進めます。

拡張エリアでは、IT技術を活用した高度化・高付加価値に向け、ITと親和性の高い多分野の企業を集積をするほか、若者が活躍する拠点、産学官連携・人材育成の拠点の形成を目指します。

もっと仲間を増やして
もっと連携を広げて
夢は滝沢バレー！

事業名：ＩＣＴ産業集積拠点整備事業

事業費：34,000千円（令和7年度予算額）

概　要：滝沢市ＩＰＵイノベーションパーク拡張に向けた事業

担当課：経済産業部企業振興課　鳴海　（kigyo@city.takizawa.iwate.jp）

プロジェクトその４

産業人材育成の推進

将来のIT人材の育成や大学と企業との交流のため、子どもから社会人を対象に産業人材育成の取組を実施し、地域内への人材定着やＵＩターン人材の雇用拡大・起業を促進しています。

今年度は、小中学生が身近にプログラミングを学ぶための、Scratchやmicro:bitを活用したプログラミングワークショップ等を実施するほか、市内事業者向けに地元IT企業及び大学生との連携によりDXに関連した課題解決や産業人材の育成事業を実施します。

滝沢市商工会とのＩＴ講習会

夏休みプログラミングワークショップ

冬休みロボット体験

地元の商工業者を知り経済循環を知る

滝沢市商工会青年部は県内で一番会員数が多く活動が活発に行われています。

市では商工会・商工会青年部と連携を図り、地元の小学生に地域の企業を知るとともに、『仕事をする』『お金を得る』『消費をする』という流れを経験して地域内経済循環について考えてもらうきっかけとなるよう、職業体験「チャグジョブ滝沢」を令和５年度から開催しています。

昨年は企業２５社、小学生約２００名の参加をいただき、「美容室」「足場屋」「ペンキ屋」等様々な職種の職業を体験しました。

本市における、様々な地域産業が元気になる取り組みに対し、皆さまのご支援をお願いいたします。

事業名：産業人材育成事業・産業振興事業
事業費：5,662千円・1,000千円（令和7年度予算額）
概　要：子ども向けプログラミング教室や地元企業向けＩＴ人材育成事業
　　地元商工団体による小学生職業体験「チャグジョブ滝沢」開催事業
担当課：経済産業部企業振興課　鳴海　（kigyo@city.takizawa.iwate.jp）

プロジェクトその５

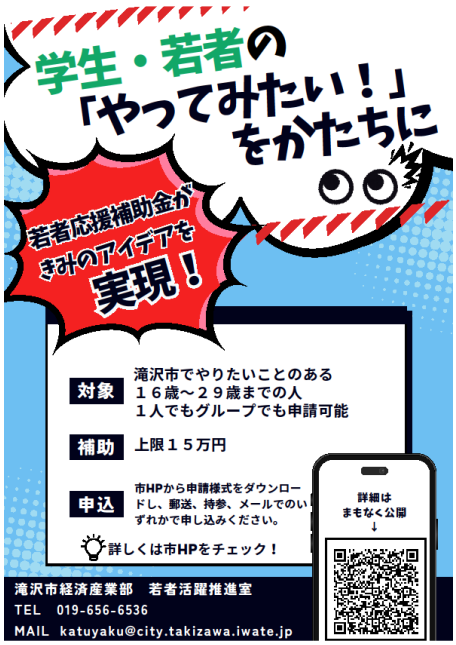
若者や学生がイキイキと活躍できる市をめざして

学生人材育成「ミライプロジェクト」

滝沢市は高校、短期大学、大学がそれぞれ２つずつあり、岩手県内でも学園都市としての機能もあります。

今までも多くの優秀な卒業生を世界に排出してきましたが、もっと滝沢をフィールドにした地域の課題発見、そして解決に一歩踏み出し、やがて世界で活躍できる学生を育てていきたいと考えています。

そこで、夢を持ち、自らが進む「滝沢ミライプロジェクト」をスタートさせました。この事業に取り組むべく、講師による講座や合宿も行い、学生への支援もしています。



「若者応援補助金」の創設

若者や学生世代がさまざまな分野で活躍することができるよう若者応援補助金制度を立ち上げました。

この補助金は、若者だけではなく、若者の育成者も活用することができ、幅広い「やってみたい！」をかたちにしてもらいたいと考えています。

「０を１に。」そんな活力のある若者、そして支援者への支援を通して、滝沢に愛着をもってもらい、市内外で活躍するための人材育成にも繋げます。

事業名：若者活躍の場づくり推進事業・大学未来共創事業

事業費：1,500千円・5,544千円（令和7年度予算額）

概　要：若者・学生の人材育成

担当課：経済産業部若者活躍推進室　竹鼻・大井　（katuyaku@city.takizawa.iwate.jp）

プロジェクトその６

〝このまちが好き〟な人であふれる滝沢市へ

～住むまちを改めて知ることによる愛着づくり～

遊びながらまちを知る体験

子どもが多い本市では、学びや経験といった成長の余白が大きい時期に「滝沢市版まちづくりキット」や、市の地形、特徴を模したすごろくゲームなどを用いて、子どもの頃の「楽しい」体験に滝沢を絡めることによる市への「愛着づくり」に取り組みます。

また、まちづくりキットやすごろくゲームを子どもと共に体験する親世代にも、これまで知らなかった滝沢を改めて知ってもらうことにより、親子で楽しみながら市への愛着を育む環境づくりを進めていきます。

まちを知る・人とつながるきっかけ

無作為抽出により選ばれた市民を対象に、テーマを「自分ごと」として捉え、自分たちが住む滝沢が良くなるために、自分たちは何ができるかを考える「たきざわ自分ごと化会議」を開催し、地域に関わろうとする意欲・行動を呼び起こします。

市出身のプロスポーツ選手の所属チームや滝沢ふるさと会等と連携し、たきざわ応援PRブースを出展したり、市の話題が様々な場所から聞こえるようラジオ番組を制作し、ふるさと滝沢への愛着の機運を盛り上げていきます。

この事業を展開することで、市をより好きになり「住みたい、住み続けたい場所」として「滝沢市」が選ばれるように、市に関わりのある人たちが自分らしさを発揮できるような環境を作っていきます。

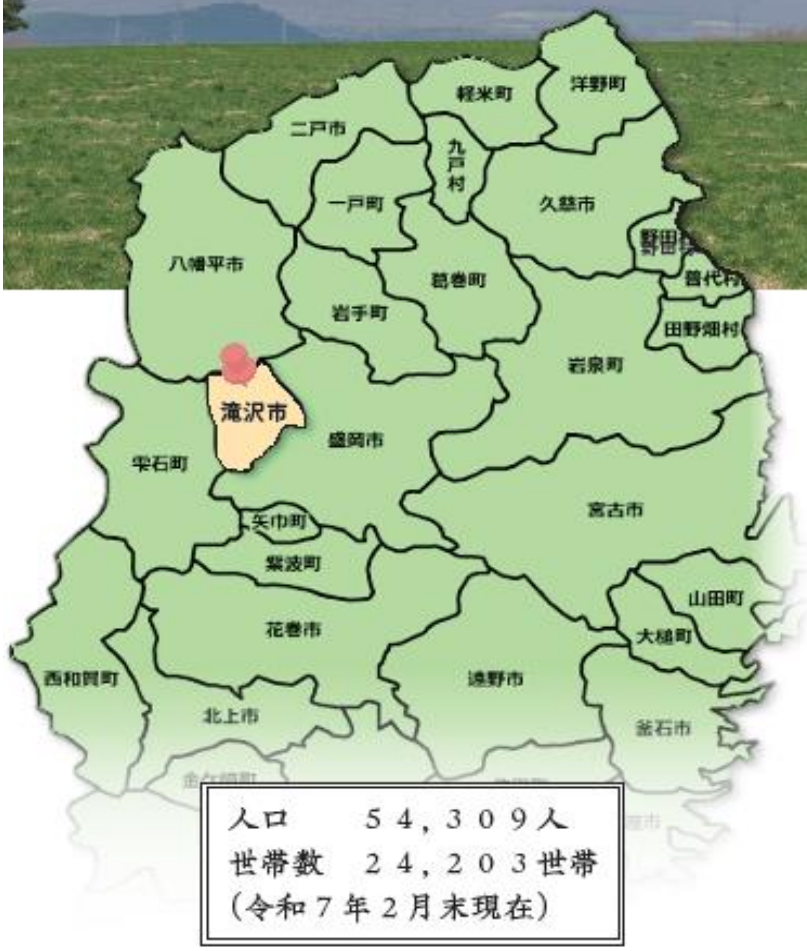
事業名：地域愛着向上事業

事業費：2,931千円（令和7年度希望事業費）

概　要：まちづくりキットやラジオ番組制作などによる地域愛着醸成

担当課：企画総務部たきざわ魅力発信室　木下・阿部（miryoku@city.takizawa.iwate.jp）

やさしさに包まれたまち
たきざわ



人口　　５４，３０９人
世帯数　２４，２０３世帯
（令和７年２月末現在）

位置と概要

滝沢市は、盛岡市の北西部に位置する、東西約 14km、南北約 20 ㎞、総面積 182.46k ㎡のまちです。

骨格道路として国道４号、46 号、282 号に加え、市内を縦断する東北自動車道の滝沢 IC、滝沢中央 SIC を有しています。

市北西部には秀峰岩手山をいただき、馬返し登山口は岩手山の表玄関として知られています。

平成元年に盛岡大学が移転し、平成 10 年に岩手県立大学が開学するとともに、大学、試験研究機関が集積し、岩手県における研究学園地域を形成しています。

産業構造は、令和２年国勢調査で第１次産業が 4.8%、第２次産業が 21.7%、第３次産業が 73.5%となっています。

平成 12 年に人口５万人を達成し、人口日本一の村となりました。その後、団体自治の強化を図ることを目的に平成 26 年１月１日に市制移行し、令和６年１月に市制施行 10 周年を迎えました。

市の花「ヤマユリ」

市の鳥「カッコウ」

市の木「ベニヤマザクラ」

鬼越蒼前神社

「チャグチャグ馬コ（うまっこ）」

みちのくの初夏の風物詩「チャグチャグ馬コ」は馬の守り神と言われる「蒼前様」を信仰する伝統行事で、70頭ほどの馬が、鵜飼にある蒼前神社から盛岡市の八幡宮まで14キロの道のりを行進します。

馬のあでやかな飾り付けとたくさんの鈴が特徴で、歩くたびに「チャグチャグ」と鳴る鈴の音が名称の由来といわれています。

馬の飾りは、大名行列に使われた「小荷駄装束」に端を発するといわれ、色とりどりの装束に身を包んだ馬が行進する様子は圧巻です。

また、そのように馬を飾り付けるのは愛馬精神のあらわれともいわれています。

もともと旧暦の5月5日に行われていましたが、農繁期と重なるため昭和33年から新暦の6月15日とされました。平成13年からは6月の第2土曜日に開催されています。また、昭和53年には文化庁から「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択され、平成8年には、馬の鈴の音が環境省の「残したい"日本の音風景100選"」に選定されています。

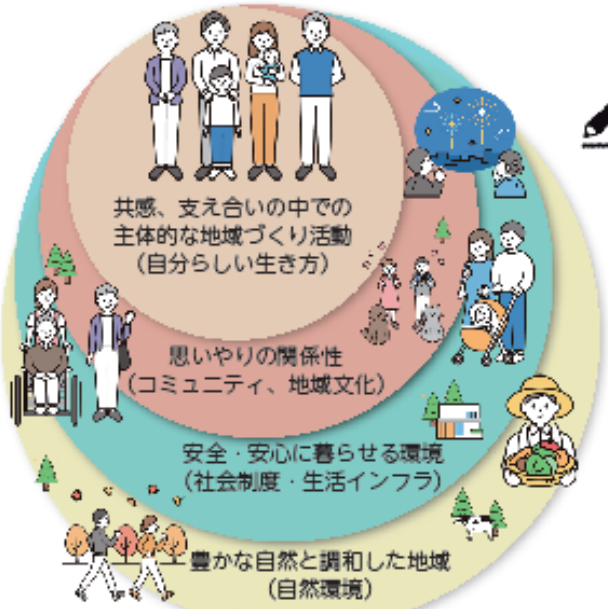
目指す姿

やさしさに包まれた滝沢

令和６年４月から始まった「第２次滝沢市総合計画」では、市は計画期間である令和13年度までの８年間で、市民それぞれの周囲にやさしさが循環するような社会的包摂性の高い地域社会「やさしさに包まれた滝沢」の実現を掲げています。

これは、やさしさの中で一人一人の個性や多様性を尊重し合い、自分が誰かを支えうる存在であるという実感を持ちながら、充実した生活を過ごせる滝沢を目指すものです。

第２次滝沢市総合計画は地域の懇談会や市民アンケートなどで市民の皆さんから寄せられたたくさんの意見を取り入れて策定しています。



「やさしさに包まれた滝沢」のイメージ

重要な５つの視点

政策展開に当たって重視すべき視点

視点１　つながる滝沢

家族や地域の人の他、多様な関わり合いの中で信頼関係を築きながら、住民協働による住民自治の深化めざし、人と人とのつながりの構築を推進します。

視点２　こどもまんなか滝沢

子どもを安心して産み育てられる子育て環境の充実に取り組むとともに、子育てをみんなで助けあいながら、家庭や地域が一体となって子どもの成長を後押ししていきます。

視点３　いきいき滝沢

子どもから高齢者、また障がいのある方もない方もそれぞれが共に支え合い、健やかに安心していきいきと暮らせる取り組みを進めるとともに、生きがいややりがいが持てる環境づくりを進めます。

視点４　まなぶ滝沢

岩手県立大学や盛岡大学など高等教育機関の専門的な知見を生かした学びの機会創出の他、社会に出たあとも必要なタイミングで学びなおしに取り組むリカレント教育の振興など、学びにつながる環境づくりを進めます。

視点５　はたらく滝沢

若い世代の存在や大学が立地している本市の特徴を生かして、市内に働く場を創出するための取り組みを進め、若者を中心とした市民の皆さんが、自分らしく働くことができる環境づくりを進めます。

ぽん つどいの場

滝沢市下鵜飼１番地 15
019-656-7811

ビッグルーフ滝沢・湖山図書館

平成 29 年４月にグランドオープンしたビッグルーフ滝沢。貸館をメインとした「コミュニティセンター」、産直とレストランからなる「たきざわキッチン」、そして「湖山図書館」の３つのエリアで構成された交流拠点複合施設です。

滝沢市鵜飼御庭田１番地１
019-687-3311

滝沢総合公園

テニスコート、陸上競技場、体育館、野球場といった運動施設に加え、ロックガーデン、芝生広場、日本庭園やバラ園を備えています。スポーツの場と憩いの場が調和する公園として、季節を問わず皆さんに親しまれています。

滝沢市土沢 265 番地３
019-687-5511

滝沢ふるさと交流館

最大 500 人を収容できるホールに加え、会議室や和室、調理実習室などを備えています。

滝沢市葉の木沢山 460 番地１
019-688-1562（出張所）
019-688-2032（活動センター）

東部出張所・葉の木沢山活動センター

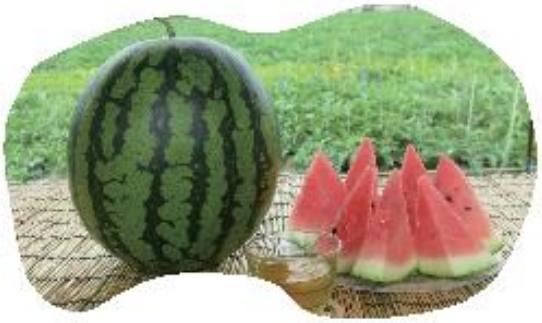
市役所の出張所機能を備えるほか、バレーボールやバドミントンができる体育室に加え、和室や調理実習室、ピアノを備えた音楽室のある活動センターを併設しています。

滝沢市巣子 148 番地
019-688-5111

北部コミュニティセンター

バスケットボールなどに利用できる大集会室のほか、和室や研修室、ろくろなどがある創作室を備えています。概ね 65 歳以上の方が無料で利用できる「北の湯」があり、地域の皆さんの憩いの場になっています。

うまいもん



「滝沢スイカ」

県内一の出荷量を誇る滝沢産のスイカ。岩手山の水はけの良い火山灰土と、昼夜の大きな寒暖差が良質なスイカを育てます。

「滝沢はるか」

一般的なりんごと比べ、群を抜いて高い糖度を誇る「はるか」。その中でも独自の基準をクリアしたものは「滝沢はるか」として販売されます。蜜がたっぷり入った衝撃的な甘さのりんごです。

「滝沢かんしょ」

岩手山麓の水と土で育った滝沢産サツマイモ。紅はるか、シルクスイートなどなど、産直にはさまざまな品種が並びます。

「イワナ」

豊富な湧き水を利用したイワナの養殖が盛んです。臭みがなく、刺身や寿司でもおいしく食べられます。

滝沢市営業係長（ぼん）「ちゃぐぽん」

岩手山の森からチャグチャグ馬コに乗って降りてきた妖精、ちゃぐぽん。

大好きな滝沢のりんごやスイカをたくさんの人に好きになってもらえるよう、市の営業係長として頑張っています。

特徴的な施設

本市は県内でも数少ない、２つの４年制大学を有する自治体で、若者が多いことが市の特徴であり、強みでもあります。高齢化率が県内自治体で最も低い（令和５年 10 月１日時点で 27.5%）要因のひとつは、この学生の多さにあると言えます。

「岩手県立大学」

平成 10 年４月に開学した岩手県立大学。敷地内には大学院、盛岡短期大学部もある他、沿岸には宮古短期大学部もあります。

学部	学科	在籍数 (R6.5.1 現在)
看護学部		374
社会福祉学部		100
	社会福祉学科	173
	人間福祉学科	150
ソフトウェア情報学部		686
総合政策学部		463
盛岡短期大学部	生活科学科	106
宮古短期大学部	国際文化学科	106
	経営情報学科	163

※データは岩手県立大学 HP より

「盛岡大学」

令和３年に開学 40 周年を迎えた盛岡大学。敷地内には短期大学部も併設されています。

学部	学科	在籍数 (R6.5.1 現在)
文学部	英語文化学科	200
	日本文学科	291
	社会文化学科	317
	児童教育学科	475
栄養科学部	栄養科学科	275
短期大学部	幼児教育科	128

※データは盛岡大学 HP より

「滝沢市IPUイノベーションセンター＆パーク」

岩手県立大学の正面に広がる「産学官連携とITの集積」を目的とした産学官サポート地域「IPUイノベーションパーク」。パークの中には市が管理するアパート型企業入居スペース、イノベーションセンター(平成21年開所)及び第2イノベーションセンター(平成26年開所)の他、企業の自社オフィスなどが立地しています。

センターは、セミナーなどの会場としても活用されています。

センター内観

「陸上自衛隊岩手駐屯地」

岩手県唯一の陸上自衛隊駐屯地として昭和32年8月に開設された岩手駐屯地。東北方面特科連隊をはじめ7つの部隊が駐屯しています。

北東北最大の岩手山中演習場を有する岩手駐屯地は、隊員の大部分が岩手県内出身者で構成され、郷土の部隊として約1,500名の隊員が国民の平和と安全を守るため、日夜厳しい訓練に励んでいます。

また、国防任務の他、各種災害発生時における災害派遣活動や県内各地の行事、イベントなどへの参加・協力など地域振興や地域住民との融和にも積極的に取り組んでいます。